

原子力発電所の再稼働問題については、当方は中立派なので、賛成も反対も無い。ただし稼働を停止したとしても、そこに燃料棒がある限り危険は同じじゃないの？という疑問はある。

この頃は、大飯原発の再稼働への反対運動が盛んなようだが、ただ止めろ！止めろ！ばかりで、果たして燃料棒、使用済み燃料棒はどうするんだ？という根本が欠落しているような気がしてならない。

震源地に近かった宮城・女川原発は無事で、福島第 2 原発はメルトダウン。周辺がどうなっているのか？放射性物質は今もダダ漏れなのか？続報は少なくなっているが、万が一今年のコメにまた放射性物質が検出されれば、コメ相場は大波乱となるだろう。

原発の再稼働に関しては中立の当方だが、ひとたび原発事故が起きれば、その被害は甚大になるという事は承知している。

セシウム 137 の半減期は 30 年だが、プルトニウム 239 は 2 万 4000 年、ヨウ素 129 は 1570 万年、カリウム 40 は 13 億年、ウラン 238 は 45 億年、トリウム 232 に至っては 140 億年という長さである。

半減期というのは放射能の強さが半分になるということで、そのまた半分の 4 分の 1 になるには更なる時間が掛かり、ゼロになるには優に 2~3 倍の時間が掛かるわけだ。

地球が誕生してから 45 億年だっけ？ ウランやトリウムは、もうこれは永遠になくならないと言っても良いくらいだ。燃料棒が福島にどのくらい残っているのが知らんが、もう孫子の代どころか、地球最後の日まで安全になる事は無いだろう。

軽水炉型の原発なら危険度はまだマシな部類(?) だろうが、高速増殖炉ともなれば、更に危険度は増す。生まれ落ちる死の灰の毒性は軽水炉の比ではないし、燃焼中の燃料は高温すぎるため水で冷やすことは不可能で、ナトリウムで冷却するしか手は無い。

高速増殖炉「もんじゅ」がナトリウム漏れ事故をおこしたのは記憶に新しいが、ナトリウムは水をかければ発火する厄介なものだ。万が一、事故が起きれば、これはもう止める手立てはないだろう。

核燃料リサイクルという夢の技術は、100%海外から輸入した濃縮ウランを使い、核分裂させながら電気を作り、さらにそれから新たな核分裂物質を得て再利用する。つまり軽水炉で使った燃料を加工し、更に高速増殖炉でつかうという夢のリサイクルだ。

ただし広島型原爆がペットボトル 1 本くらいのウラン 235 を燃焼させたものであるのに対し、軽水炉はそれより純度の低いウラン 238 を 97%、235 を 3%という割合の燃料棒を、制御棒でじわじわもやし、水を蒸気に変えて発電するわけだ。結果、毎年 1 万トンの死の灰を生産する。

その死の灰を再利用するのが高速増殖炉であるが、ウラン 235 の純度を 19%近くまで上げる必要があり、MOX 燃料なのでプルトニウムも必要だ。それだけ臨界になる危険性も飛躍的に増すわけだ。

はっきり言って、これを民間技術とするのは危険すぎるだろう。ほぼ軍事技術なのだから、政府＝自衛隊のやる仕事じゃあるまいか。議論は、そういうレベルでもらいたい。

〔貴金属〕

今週の金の値動き

	6月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
6月18日	¥4,128	12	¥4,138	11
6月19日	¥4,137	9	¥4,145	7
6月20日	¥4,105	-31	¥4,118	-27
6月21日	¥4,098	-8	¥4,104	-14
6月22日	¥4,040	-58	¥4,051	-53

金相場は、先週号においては『チャート・ファンドポジション・ETF 残高から判断した場合、相場はすでに底入れしている可能性が大である。来週は重要イベントが続くが、そこで崩れなかったら、いっそうそれがハッキリするかもしれない』とコメントした。

今週の相場展開は、4,100円台前半でのみみ合いが続いていたが、週末には大きく下落して4,000円台へ。しかし4,000円は割り込まなかった。

○東京金日足

…削除済み…

年初来の高値4,654円(2/27)→3,886円(6/4)まで768円下げた相場は、4,183円(6/7)まで297円幅戻し(3分の1戻し)、再度4,000円を割り込んだ後に戻した。

ギリシャ再選挙～G20～FOMCなど、重要なイベントが続いた週だったが、結局はその6/7以降の動きの中でのみみ合いである。

ギリシャは財政緊縮派が勝利し、…中略…

そんな中で金相場は、ラストリゾートとしての側面があって底堅いし、かと言って大きく買い上げるのは資金不足という事もあり、みみ合いを脱却できなかったと言えるのだろう。

現在の相場のチャート判断では、3,886円(6/4)で底入れ完了を示唆しているが、一方で6/7に付けた4,183円は戻りいっぱい。若干弱めの逆張りが続く…と見るのが妥当だろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年6月	¥3,909	6月28日	¥4,754	9月7日	¥3,810	12月30日	¥4,040
2012年8月	¥4,506	8月29日	¥4,754	9月7日	¥3,808	12月30日	¥4,049
2012年10月	¥4,229	10月27日	¥4,652	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,049
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,051
2013年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	¥3,885	6月4日	¥4,051
2013年4月	¥4,307	4月25日	¥4,342	4月27日	¥3,886	6月4日	¥4,051

○NY 金日足 (6/21 現在)

…削除済み…

週末 6/22 の NY 市場は、前日比 1.4 ドル高の 1565.9 ドルでの終了。国内換算価格は、15 時半比では 6 円高である。

NY 金のチャートは、1530 ドル割れで底打ち→1640 ドル台まで戻し、今週は 1635.4 ドル(6/15)と上値を突破できず、逆に 21 日には大きく下落して 1560 ドル台に下げたわけだ。

先週号にて、『来週も 1600 ドル台を維持～1650 ドルと来るようなら、そのまま底入れ→上昇相場入りだろう。逆に 1600 ドルを割り込むようなら、しばらく低迷を余儀なくされるか』としたわけだが、1600 ドルを割ったのだから、当然しばらく低迷だろう。

CFTC 発表の 6/19 現在のファンドのポジションは、…中略…

6/22 現在の ETF 残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、4,000 円～4,200 円程度でのみみ合い相場が続くのだろう。今のところ 3,800 円台は底と見て、4,000 円台もしくは 4,000 円割れで買い。4,100 円台は利食いのスタンスで対処するのが良いだろう。

今週のプラチナの動き

	6 月限(当限)	前日比	4 月限(先限)	前日比
6 月 18 日	¥3,809	25	¥3,836	22
6 月 19 日	¥3,778	-31	¥3,806	-30
6 月 20 日	¥3,767	-11	¥3,789	-17
6 月 21 日	¥3,736	-31	¥3,760	-29
6 月 22 日	¥3,678	-58	¥3,710	-50

プラチナ相場は、先週号においては『チャート判断では 3,499 円で底を打っている。下げても 3,600 円台であり、上値目標をひとまず 4,000 円台回復と見て、押し目買いに 180 度転換である。ただし来週の株式市場がクラッシュしなければ…であるが』とコメントした。

今週の相場展開は、3,863 円 (6/18) まで上昇だが、その後は下落。週末には一時 3,600 円台に入り、引けには若干戻して 3,710 円での終了となった。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

4,589 円 (3/14) →3,499 円 (6/4) まで 1,090 円下げた相場は、3,863 円 (6/18) まで 364 円幅の戻りであり、3 分の 1 戻しを完了した。

その後、今週は再び値を崩し、170 円ほど下げてきたわけだが、まだ 3,499 円を大底とする上げ相場の中での押しなのか？新たな下げトレンドのスタートなのか？という判断を的確に下すのが重要だろう。

当方としては、まだ 3,499 円を大底とする上げ相場の中での押しという見方だが、4,000 円台

回復には非常に時間が掛かりそうだ…というのが今の見解。押し目買いというよりは、逆張りを見たほうが良いかもしれない。

基本的に貴金属というのは経済不安には強い銘柄なのであるが、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年6月	¥4,445	6月28日	¥4,770	8月23日	¥3,370	12月30日	¥3,678
2012年8月	¥4,581	8月29日	¥4,726	9月7日	¥3,380	12月30日	¥3,694
2012年10月	¥3,918	10月27日	¥4,570	3月14日	¥3,375	12月30日	¥3,711
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,582	3月14日	¥3,376	12月30日	¥3,711
2013年2月	¥4,535	2月27日	¥4,589	3月14日	¥3,499	6月4日	¥3,711
2013年4月	¥4,090	4月25日	¥4,141	4月27日	¥3,499	6月4日	¥3,710

○白金－金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、3,710円（プラチナ）－4,051円（金）＝－341円。6/19に－300円まで詰まったが、その後は若干拡大した。

目先は－466円（6/4）～－300円でのみみ合いかもしれない。景気が不安視される中では、この辺のサヤが順当なのだろう。

結論として当方の相場観は、3,500円割れで底は打っている相場だろうが、4,000円に回復するのは当分先のことか。しばらくは3,600円台～3,800円台でのみみ合い相場が続くと読む。

[穀物]

今週のコーンの値動き

	9月限(当限)	前日比	7月限(先限)	前日比
6月18日	¥24,870	-530	¥21,650	
6月19日	¥25,250	380	¥22,310	660
6月20日	¥25,800	550	¥23,180	870
6月21日	¥25,600	-200	¥23,250	70
6月22日	¥25,350	-250	¥23,280	30

まずはコーンから…

先週号においては『現在の在庫・天候・世界景気から考え、相場が上に出るとは思えない。戻り売り一貫で、買い方の投げによる新安値更新を狙う相場であろうと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、18日に7月限が発会したわけだが、19日・20日の急騰を交えて断続的に上昇。23,000円台まで回復で、5月・6月の高値も突破する3ヶ月ぶりの高値を記録する事となった。

○ 東京コーン日足

…削除済み…

25,180円(3/19) → 21,040円(6/4)まで4,140円下落の後、夜間取引では更に上昇しているため23,570円まで2,530円戻している相場である。

現在のチャートでは、きれいな逆三尊であり、21,000円で底入れした相場が25,000円を再び目指していると読める。

22,500円(6/11)、23,030円(5/21)と下げ相場の中での戻りいっぱいのところを次々とクリアしたわけで、当方の新安値更新狙いの考えは、今のところ大失敗。チャートに逆らうのは得策ではないので、一時的には撤退だろうが、それでも『コーン相場が大相場に発展するなど、有り得ないんじゃないの?』というのが、当方の基本的な考え方である。

上がった原因は「ホット&ドライ」であるわけだが、こんなものは一雨来れば解消だろう。天候相場特有の動きであり、単なる夏場の打ち上げ花火だろうと見ているわけだ。

だが、やはり売るには、チャートも悪化していたほうが良いわけで、戻るだけ戻したあとで、陰線が入る場面を待ちたい。ひょっとしたら、週明けに早速陰線が入るかもしれないが…。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年9月	¥27,440	8月16日	¥28,550	9月13日	¥21,930	11月28日	¥25,350
2012年11月	¥24,400	10月17日	¥25,060	3月19日	¥21,060	6月4日	¥22,370
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥24,890	3月19日	¥20,520	6月4日	¥22,410
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥25,180	3月19日	¥20,820	6月4日	¥22,940
2013年5月	¥23,250	4月16日	¥23,530	4月20日	¥21,040	6月4日	¥23,150
2013年7月	¥21,550	6月18日	¥23,390	6月22日	¥21,490	6月18日	¥23,280

○シカゴコーン日足 (6/21 現在)

…削除済み…

週末 6/22 のシカゴ市場は、前日比 4.50 セント高の 591.00 セント。一時 6 ドル台に乗せたが、そこからは下落である。国内換算では 40 円安であり、国内夜間は 250 円高の時点で終了しているため、夜間取引次第だが週明けは下落して始まるか。

CFTC 発表の 6/19 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、安値から 2,500 円戻した相場であり、チャートは逆三尊で強い。だがファンダメンタルズが良くない事変わらないため、チャートに踊って買うのは危険だろう。近いうちに往って来いすると見ている。

今週の大豆の値動き

	8 月限(当限)	前日比	6 月限(先限)	前日比
6 月 18 日	¥45,000	-600	¥44,770	
6 月 19 日	¥46,000	1000	¥45,570	800
6 月 20 日	¥46,500	500	¥46,490	920
6 月 21 日	¥46,150	-350	¥46,780	290
6 月 22 日	¥46,800	650	¥46,810	30

続いて一般大豆です…

先週号においては『チャートは売り、ファンダメンタルズは買いの相場である。大量に買い越すファンドの玉に、今後利が乗るのか？ヤラレになるのか？で展開が変わるだろう。来週は、大きな節目かもしれない』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けに 6 月限が発会した後、19 日・20 日と急騰して年初来高値を更新。その後も続伸した相場は、週末の夜間取引では 47,000 円台まで上昇している。

○ 東京大豆日足

…削除済み…

今までの年初来高値は、**46,680 円 (4/9)** であるが、それは 20 日にすでに更新。週末には 46,810 円での終了だったが、その後の夜間取引では **47,340 円 (530 円高)** と続伸している。

もっともシカゴの終了時点では、70 円高まで換算は低下しているので、ちょっとこれは買われすぎかもしれない。だが、新高値更新中なのは事実だ。

米国の在庫率 4.3% という強いファンダメンタルズの大豆相場が、ついにファンダメンタルズ通りに上昇を開始したわけだが、今の上げはファンダメンタルズよりもホット&ドライ懸念だ。一雨くれば終わる相場であり、砂上の楼閣でもある。

現在、国内に上場している国際商品の中で、唯一高値追いしている銘柄であり、安値更新している石油やゴムなどとは真逆の展開である。

確かにそうなるファンダメンタルズもあるわけで、チャートも当然のごとく新高値更新中なのだから強いに決まっている。しかし商品市場全体の動向で考えた場合、何時までも上がり続ける事が果たして可能なのか？ そういう危惧があるわけだ。

相場というものは、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年8月	¥47,450	8月16日	¥50,110	9月5日	¥35,610	12月15日	¥46,800
2012年10月	¥44,250	10月17日	¥49,700	6月12日	¥36,410	12月15日	¥48,570
2012年12月	¥37,500	12月16日	¥49,420	6月22日	¥36,830	12月16日	¥49,110
2013年2月	¥41,900	2月16日	¥47,000	6月22日	¥41,050	2月16日	¥46,820
2013年4月	¥45,350	4月16日	¥47,100	6月22日	¥41,750	6月4日	¥46,990
2013年6月	¥44,700	6月18日	¥46,950	6月22日	¥44,400	6月18日	¥46,810

○シカゴ大豆日足 (6/21 現在)

…削除済み…

週末6/22のシカゴ市場は、7月限で前日比4セント高の1442.50セント。高値は1464.25セントまでであったが、そこからは降雨予想で下落した。

国内換算では70円高であるが、11時時点で終了する夜間取引では530円高。シカゴの高値時点で引けてしまったからだろう。もっともこの週末、雨が降らなきゃまた夜間で上昇しているだろうが。

チャートでは1509セント(4/27)が天井、1449.50セント(6/12)が2番天井だったが、その1449.50セントは週末突破したわけだ。このままホット&ドライが続けば15ドルだろうし、雨が来れば終わりだろう。

CFTC発表の6/19現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、新高値更新中の相場であるが、上がったのは下がるのが相場。どこで天井を打つかを見極め、売るのが面白いだろう。どうせ上がるなら、天まで上がれ！

[コメ]

今週のコメの値動き

	6月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
6月18日	¥16,600	200	¥15,840	340
6月19日	¥16,600	0	¥15,860	20
6月20日	¥16,850	250	¥15,860	0
	7月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
6月21日	¥16,410	-190	¥15,500	
6月22日	¥16,100	-310	¥15,630	130

○東京コメ日足

…削除済み…

今週は 20 日に 6 月限が納会し、翌 21 日に 12 月限が発会。6 月限は 17,900 円という一代高値を付けた限月であり、安値からは 4,500 円ほど上がり、高値からは 1,000 円ほど下げて終了したわけである。

6 月限の受け渡し高は 12 枚（売買枚数では 24 枚）。9 枚が会津産コシだが、**3 枚が何と新潟産コシ**。標準品は関東産コシだが、新潟産は格差 2000 円上なので、16,850 円の納会値なら、実際の価格は 18,850 円という事になる。

現物価格は関東産コシでも一時そのくらいまで上がったが、そこからは現在 2,000 円ほど下げている。**特に高いブランド米が売れず、安い米なら引き合いがある状況**。外食産業は、18,000 円なんていう高い米は使えず、出来れば 15,000 円程度の安いコメが欲しいわけだ。

要は、売れ残った新潟産コシが出てきたという事だろう。

今後の動向は、…中略…。

東京コメ一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 6 月	¥14,170	12 月 21 日	¥17,900	5 月 15 日	¥13,480	1 月 11 日	¥16,850
2012 年 7 月	¥14,240	1 月 23 日	¥17,700	5 月 16 日	¥13,820	1 月 26 日	¥16,100
2012 年 8 月	¥14,200	2 月 21 日	¥16,940	5 月 16 日	¥14,090	4 月 2 日	¥15,630
2012 年 9 月	¥14,200	3 月 21 日	¥16,690	5 月 14 日	¥13,990	4 月 2 日	¥15,470
2012 年 10 月	¥15,210	4 月 23 日	¥16,710	5 月 15 日	¥15,100	6 月 7 日	¥15,620
2012 年 11 月	¥15,500	5 月 21 日	¥16,080	6 月 19 日	¥15,000	5 月 24 日	¥15,550
2012 年 12 月	¥15,900	6 月 21 日	¥15,900	6 月 21 日	¥15,440	6 月 21 日	¥15,630

[ゴム]

今週のゴムの値動き

	6 月限(当限)	前日比	11 月限(先限)	前日比
6 月 18 日	257.5	7.5	255.6	7.8
6 月 19 日	254.5	-3.0	251.5	-4.1
6 月 20 日	254.5	0.0	252.2	0.7
6 月 21 日	251.0	-3.5	244.2	-8.0
6 月 22 日	241.0	-10.0	231.7	-12.5

先週号においては『**安値から 20 円ほど戻している状況だが、ここからが分岐点。これ以上騰がると下げトレンドラインをブレイクするので底入れだろうし、ここで失速するようなら戻り売りのまま**』とコメントした。

今週の相場展開は、週明け **257.4 円 (6/18)** まで上昇した後、失速。週末 2 日間は暴落となり、一気に**新安値更新**へ。その後の夜間取引では、**227.8 円の安値**まで記録している。

○東京ゴム日足

…削除済み…

今年の最高値である 344.4 円 (2/27) →232.2 円 (6/11) まで 112.2 円下げた相場が、257.4 円まで 25.2 円戻した後、それ以上の下落である。

つまり、買いトレンドには全く転換出来ず、下げ幅は更に拡大したわけである。

あまりにも皆が『200 円割れに突き進むのでは?』と売り人気が高まったためか、20 円の反発ではなく 25 円の反発と振るい落としを入れ、強気派を増やしたところで急落した展開なのである。

相場というのはこういうものなので、また今後もそういう動きをするものと覚悟せねばならぬだろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 6 月	279.6	12 月 22 日	339.5	2 月 27 日	240.6	6 月 6 日	241.0
2012 年 7 月	324.0	1 月 26 日	342.0	2 月 27 日	237.6	6 月 11 日	240.7
2012 年 8 月	340.7	2 月 24 日	344.4	2 月 27 日	238.7	6 月 22 日	239.0
2012 年 9 月	341.2	3 月 27 日	341.9	3 月 27 日	237.0	6 月 22 日	237.1
2012 年 10 月	307.2	4 月 24 日	317.8	5 月 2 日	233.5	6 月 22 日	233.8
2012 年 11 月	267.8	5 月 28 日	274.0	5 月 30 日	231.6	6 月 22 日	231.7

当先のサヤは、6 月限 241.0 円～11 月限 231.7 円と **9.3 円の逆ザヤ**。逆ザヤは大幅に拡大した。先週は中物が高い天狗ザヤだったが、格言通りに「天狗に買い無し」になったわけだ。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、5/31 現在で 3 トン減の 14,800 トン。2 旬連続の減少であるが、入庫も出庫も 1000 トン台はある。

上海ゴム在庫は、…中略…。

上海ゴム価格は、23,000 元台まで戻っていたが、週末は急落して再び 22,000 元台へ。

結論として当方の相場観は、結局は戻り売り相場を脱却出来なかったということ。またどこかで 20 円程度の戻りはあるのだろうが、底値はまだ見えない状況に変わりはない。

〔原油・石油製品〕

今週の原油の値動き

	6月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
6月18日	¥48,450	320	¥47,610	490
6月19日	¥47,750	-700	¥46,280	-1330
6月20日	¥47,830	80	¥46,580	300
6月21日	¥47,340	-490	¥45,420	-1160
6月22日	¥47,100	-240	¥44,810	-610

まずは原油から…

先週号においては『チャートは下げトレンドのままだが、来週は重要イベントが目白押し。それに相場がどう反応するかを見て、また戦略を考えるのがベターであろう』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は21日に急落して80ドル台を大きく割り込み、78ドル台へ。週末22日は前日比1.56ドル高の79.76ドルで終了であるが、安値では77.56ドルまで記録であった。

東京原油は、今週もちょっと戻してはまた大きく下げ、週末には45,000円台も割り込んで年初来安値の更新。44,350円の安値まで記録である。

○ NY原油日足 (6/21 現在)

…削除済み…

週末6/22のNY市場は、前日比1.56ドル高の79.76ドル。FOMCでQE3が回避されたために急落した相場は、この日の安値は77.56ドルまでであった。高値80.37ドルなので、この日だけで3ドル近い上下である。

この日の上げは買い戻しによるもので、特に材料は無し。東京市場15時半比では720円高となっている。

81.21ドル→87.03ドルまで5.82ドル戻したのが限界の相場は、80ドル割れをした事で、週末の動きを見てもわかるとおり、今度は81ドルが上値抵抗線だ。倍返しの下げなら、目標値はズバリ75.39ドルであり、戻しても売られる展開が続くそう。

○NY原油週足 (6/21 現在)

…削除済み…

日足では新安値更新中なので、目標値が良く判らないだろう。そう考えて、今週は週足もアップである。

当面の目標は昨年10月の74.95ドルであろうし、それで止まらないなら一昨年5月の64ドル目標であろう。

ただし相対力指数は2008年の大暴落並みの30ポイント割れに突入。底打ちすれば、再び買い相場に転換する事になるだろう。その材料が何なのかは、出てみないとわからないが。

なお週末のロンドンブレントは90ドル台、ドバイ原油も90ドル台である。NY原油の逆ザヤに変化はないが、これらの油種がサウジの言うところの「適正価格90ドル」までやっと下げたわ

けで、これ以上の下げは産油国も望まないのかもしれない。

6/19 現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

63,550 円 (3/15) →44,920 円 (6/5) まで 18,630 円下げた相場は、4,000 円ほどは戻したが、また新安値更新で 44,350 円まで下げたわけだ。

FOMC も空振りに終わり、今は何の買い材料も出ていないわけで、こうなるのも致し方無し。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 6 月	¥51,590	1 月 4 日	¥64,020	3 月 15 日	¥46,500	6 月 22 日	¥47,100
2012 年 7 月	¥51,290	2 月 1 日	¥63,810	3 月 15 日	¥44,870	6 月 22 日	¥44,860
2012 年 8 月	¥59,290	3 月 1 日	¥63,550	3 月 15 日	¥44,230	6 月 22 日	¥44,780
2012 年 9 月	¥60,800	4 月 2 日	¥61,900	4 月 4 日	¥44,410	6 月 22 日	¥44,790
2012 年 10 月	¥57,430	5 月 1 日	¥57,710	5 月 2 日	¥44,310	6 月 22 日	¥44,750
2012 年 11 月	¥47,650	5 月 1 日	¥49,130	6 月 11 日	¥44,350	6 月 22 日	¥44,810

結論として当方の相場観は、下値の目処は 75 ドル前後と見ているわけで、ぼちぼち底値圏には入って来たか。ただし戻るための材料は無いわけで、少なくとも一定の底値り期間が無いとダメであろう。

今週のガソリンの値動き

	7 月限(当限)	前日比	12 月限(先限)	前日比
6 月 18 日	¥63,930	370	¥57,700	520
6 月 19 日	¥62,450	-1480	¥56,230	-1470
6 月 20 日	¥61,800	-650	¥56,340	110
6 月 21 日	¥60,000	-1800	¥54,820	-1520
6 月 22 日	¥59,430	-570	¥53,930	-890

続いてガソリンです…先週号においては『来週の金融状況次第だが、順当ならばしばらく保合相場が続くか。しばらく様子見が良いだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、ちょっと戻しては大きく売られる展開が続き、週末には新安値更新の 54,000 円割れに突入。その後 53,000 円台半ばまで記録している。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

77,810 円 (3/15) →54,510 円 (6/5) まで 23,300 円下げた相場は、59,920 円 (6/8) まで 5,410 円戻し、また新安値更新の 53,000 円台へ。

重要なイベントは終わったが、ギリシャは緊縮財政派が勝っても、欧州債務問題は変わらないと売られ、FOMC では QE3 見送りと売られ、中国の景気も怪しいと更に売られである。

結局、先週までの横ばいは、単なる次の下げのための準備期間中だった模様。あるか無いかは判らぬが、戻りの倍返しの下げなら、ズバリ 49,100 円が目標値になる。酷いもんだ。

一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥79,810	3月15日	¥58,500	6月22日	¥59,430
2012年8月	¥66,800	1月26日	¥78,910	3月15日	¥57,700	6月22日	¥58,370
2012年9月	¥75,030	2月27日	¥77,810	3月15日	¥56,410	6月22日	¥56,870
2012年10月	¥74,980	3月26日	¥75,430	3月28日	¥55,020	6月22日	¥55,400
2012年11月	¥69,280	4月26日	¥69,690	4月27日	¥54,170	6月22日	¥54,410
2012年12月	¥61,470	5月28日	¥61,930	5月30日	¥53,750	6月22日	¥53,930

6/22 現在の業者間転売価格は、…中略…

6/16 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、重要なイベントが終わっても下抜けした相場であり、今のところ底値は見えない状況である。まだしばらくは、戻り売りが続くの見るのが妥当なのだろう。

今週の灯油の値動き

	¥58,920	前日比	12月限(先限)	前日比
6月18日	¥58,110	320	¥60,420	540
6月19日	¥56,860	-1250	¥59,110	-1310
6月20日	¥57,100	240	¥59,410	300
6月21日	¥58,180	-920	¥58,320	-1090
6月22日	¥56,030	-150	¥57,410	-910

最後に灯油です…先週号においては『外部環境によほどの変化ない限り、しばらくはもみ合いに入るのだろう。FOMC でも、事前の期待ほどのものは、何も出ない気がする』とコメントした。

今週の相場展開は、ちょっと戻れば大きく売られる展開が続き、週末は 57,000 円台へ再び突入して年初来安値の更新。夜間取引では 57,040 円まで出ており、57,000 円台も風前の灯火。

○ 東京灯油日足

…削除済み…

高値 75,730 円 (3/15) → 57,930 円 (6/5) まで 17,800 円下げた相場は、62,040 円まで 4,110 円戻り、また安値更新である。

あるなしの話は別だが、倍返しの下げならズバリ 53,820 円まで下がることになる。

結局、先週のもみ合いは、次の下げのための準備期間でしかなかったというわけだが、売り人

気が高まればきっとまた 4,000 円くらいは戻すのだろうな。それが相場というものだから…。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥74,500	3月15日	¥54,810	6月22日	¥56,030
2012年8月	¥63,840	1月26日	¥75,130	3月15日	¥55,400	6月22日	¥55,570
2012年9月	¥73,400	2月27日	¥75,730	3月15日	¥55,140	6月22日	¥55,580
2012年10月	¥74,590	3月26日	¥75,370	3月28日	¥55,990	6月22日	¥56,340
2012年11月	¥70,800	4月26日	¥71,400	4月27日	¥56,690	6月22日	¥56,960
2012年12月	¥64,110	5月28日	¥64,550	5月30日	¥57,190	6月22日	¥57,410

6/22 現在の業者間転売価格は、…中略…

6/16 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、底だと思ったら、更に底抜けしてしまったという展開だ。次の1月限からは買い狙いの銘柄なので、どうせ買うなら、なお下がってくれたほうが嬉しいと思っておくのが良いだろう。

[為替]

○ ドル/円相場日足

…削除済み…

今週は、重要イベントが終わったわけだが、為替は円安で 80 円台まで戻した。チャートは綺麗な逆三尊底であり、相場がチャート通りに動くのならば、円安トレンドの発生である。

ただし今のところは、…中略…

○ ユーロ/円相場日足

…削除済み…

95.58 円 (6/1) → 101.61 円 (6/21) まで、徐々に円安となっている展開である。チャートは円高となった時よりは緩やかだが、ドル/円で 3 円ほど円安になったのと比較すれば、6 円円安になっているのだから、動きは大きいとも言える。

○ ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

一方でユーロ/ドルは、ギリシャ再選挙明けはユーロが買われたわけだが、21 日は逆に大きく売られ、まだまだ方向感が定まらない様子。

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com